

C 協働学習（C 2） 主な学習活動 「ダーウィンの進化論」について考える。**1 本時のねらい**

ガラパゴス諸島に住んでいるイグアナの進化について考え、自分の考えや周りの考えをもとに進化論についてまとめる。

2 主に活用した ICT 機器・コンテンツ等

電子黒板

ファイル共有

授業支援

3 参考にしてほしいポイント

イラストや文章のどちらの表現方法でもよいことにしたため、意欲的に取り組むことができた。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	イグアナとサボテンの関係について考え、それぞれの進化について個人で考え、クラスで共有させる。	文章で表現できない子はイラストで描くなど、視覚的にも効果的に活用できた。また、クラスで考えを共有することもでき、子どもたちが主体的に学ぶことができた。

タブレット

+

電子黒板

島独自で進化をしている生き物がたくさん

写真や文字で
まとめる。【発展】シーラカンスは **生きた化石** といわれています

形態・生態（※）
現在知られている最大のサメは、かつては世界の海洋を自由に広く徘徊していたと推定される。体形・体高もさまざまなものが知られ、現生のサメ（メgalodon）に近い体形のものから、タイのようにはっきりとした体高の低いものまで、種やアタリによって異なる。また、歯の大きさや形状も異なり、サメは、歯の大きさと歯の形状から、その生態や食性も推定されている。現生のシーラカンスは、歯の大きさと歯の形状から、その生態や食性も推定されている。

発展課題にも
チャレンジ**4 活用効果**

個人の意見を共有することができた。また、可視化することでとてもわかりやすく、授業の時間短縮も図ることができたため、ガラパゴス諸島以外の進化まで考えさせることができた。